

2011年度 な～に谷っ戸ん田 第24回目 畑の作物収穫と試食、農協の裏の田んぼヒエ取り

日 時 平成23年10月1日(土) 9:30～15:30頃

場 所 堀の内の畑、農協の裏の田んぼ、谷っ戸ん田広場、

天 気 晴れ(収穫日和)

参加者 石田、磯(AM)、オズ、加藤(AM)、霧生、久保、坂本、高田直子、高橋、藤田、
松本洋子 計11名

田んぼの様子：秋晴れが続いていたので稲はいい感じで乾燥しており、決行すれば脱穀可能な状態でした。お天道様は偉大です。しかし、今週、この記録中(5日)には大雨が降り稲は濡れてしまった。恨めしいのもお天道様です。

作業内容：蜂蜜などでお世話になっている和久さの田んぼを手伝う予定であったが、園主がバインダーとポニーを準備して稲刈りをする事になり、谷っ戸ん田メンバーは、農協の裏の田んぼのヒエ取りに廻る。青々と一面にそびえ立つヒエ達を思い浮かべてテンション下がる。まずは、堀の内の畑で作物を収穫して気持ち和やかに、そして決意新たにヒエ田んぼに向うこととなった。

午前中1：堀の内畑の収穫

【サツマイモ】手前側約5m×1畝を掘り22.5kgを収穫、最大級の横綱は1.5kg。

(3株掘ったところで収穫量を計量したら4.5kgあったので、1株の平均は1.5kgになる。22.5に対しては15株の計算になるが、そんなに掘っていないよとの声もあり、だとすると1株あたり1.5kg以上の可能性もありちょっとビミョー)

重量をkg単位で記録しながら分配、精算方法や単価は今後決める。【サトイモ】3株をためし掘りし、3.1kgを収穫。

【枝豆】まだ十分生長していないので、全体を見渡し、できるだけ大粒のものを引き抜く。大豆約6株、黒大豆約2株。すべて試食にまわす。

他の作付け状況としては、ジャガイモが育っていない(葉がでていない)ところが半分弱あり心配。

午前中2：田奈の田んぼヒエ取り

お隣は生えていないのになぜこの田んぼだけヒエが密生するのか、田んぼ7不思議のひとつだが、あと6つは何にしようか。いづれにしても計画的に除去しないとだめだ。そういえば去年も同じ事を思っていた……。ぶつぶつ思いながらヒエの株をバサバサきっているうち、予定3枚のうち2枚近くを取り終えた。

昼休み

谷っ戸ん田広場にて各自食事を摂る。松本さんの梨、オズさんの京都土産の差し入れ。枝豆パーティ。沸騰したお湯に塩をまぶした枝豆を2から3分サッと茹で、水切り、サッと塩をかけてできあがり。ノンアルコールビールで乾杯。

午後：田奈の田んぼヒエ取り

やり残し部分を片付けに、再び、農協の裏の田んぼに出動。松本(洋)ヒエ取りリーダーの号令のもと作業は進み3時には完了した。

現地解散、久保さんと松本さんは谷っ戸ん田にもどり片付け。

使用した道具など：ヒエ取りに鎌、芋掘りにスコップ、運搬に米袋、分配に秤。

収菜と運搬用のコンテナがあったほうがいいかも。袋も各自、もしくは会として用意をしたい。

今回は10月8日(土)脱穀(コシヒカリ、満月)、稲刈り(喜寿)

記録：たかはし